

復興元年の災害復旧事業について

答 計画的に事業が進捗している

藤島 具体的な進捗状況・達成状況は。

町長 広川町の施設は、町道16か所、河川6か所、橋梁3か所、林道3か所、農道1か所、水路1か所の計30



工事中の松川原橋

か所で全ての工事発注を行っており、2月末までに20か所が工事完成した。残る10か所のうち5か所は、令和6年度末までに、工事完了する見込みである。

藤島 県営河川広川の浸水対策重点地域緊急事業についてはどうか。

町長 今年度は広川全域にわたり、調査、測量、設計業務が実施され、令和10年にむけ事業が進められる。

その他

小中学校の教育環境充実について質問した。令和6年度、当初



藤島 玄稔 議員

の小・中学校正規教員配置状況は、定員数に対し、小学校で合わせて21名、中学校で5名の欠員が出た。県に登録された講師の配置に加え、南筑後教育事務所や学校長との連携により、町雇用の非常勤講師を配置するなど、教員の確保に努めたとの答弁であった。

行政区に関する見直しは

答 今後、研究を進めていく

栗原 行政区の運営について町の対応、動きは。

町長 人口が減少している地域においても、今後十年間は、自治会運営が出来るとの意見もある。町としては、人口の減少や偏在が進む現状を鑑み、地域の将来を見据えた行政区自治会のあり方について、早めに検討を始めた。

栗原 行政区運営交付金について、行政の研究はどうなっているのか。また見直し時期はどう考えているのか。

町長 現在、行政区運営交付金の交付基準で

ある「行政区割」と「世帯割」の配分割合を見直す検討を進めているが、多種多様な自治会運営の中で、一律に基準を設ける難しさもあり、基準の変更には至っていない。見直し時期については、現時点では定まっていない。

栗原 区役員委任料の見直しについて、見直しの協議はどうなっているのか。

町長 区長等役員と協議したうえで、時代に応じた委任のあり方を研究する。

教育長 見直しについては、分館長会からの



栗原 福裕 議員

申し入れでもあり、合意が得られれば実施したい。引き続き分館長会と協議を重ねる。



高間区の防災訓練